

実物大 乳牛型お湯入れマシーンがもらえる！ 切なくも心温まるストーリー動画も必見

カップヌードルミルクシーフードヌードル
“実物大 乳牛型お湯入れマシーン”が抽選で
1名に当たるキャンペーンスタート
2014年11月19日(水)～2015年1月10日(土)
キャンペーンストーリー動画も同時公開！



日清食品株式会社は、
カップヌードルミルクシーフードヌードルの発売に伴い、
“実物大 乳牛型お湯入れマシーン”が抽選で1名に当たるキャンペーンをスタートします。

「カップヌードルミルクシーフードヌードル」は、『シーフードヌードルをホットミルクで作るとおいしい』というインターネット上の噂に注目して開発した商品で、2007年の発売以来、冬の定番商品となっている人気フレーバーです。今年はミルクを従来よりも増量し、よりまろやかで濃厚なスープに改良して11月4日に発売しました。

今冬、ミルクシーフードヌードルの話題化施策として、“実物大 乳牛型お湯入れマシーン”（高さ約120cm、全長約200cm、厚さ約70cm、重さ約30kgの、牛の形をしたお湯を入れられる装置）を制作し、抽選で1名にプレゼントするという企画を実施します。また、この“実物大 乳牛型お湯入れマシーン”にまつわる悲しくも心温まるストーリー動画を制作。キャンペーンページ及び日清食品グループのYouTubeチャンネルで公開します。

キャンペーンストーリー動画と共に本キャンペーンをお楽しみいただければ幸いです。

◇◆◇本件に関する報道関係者様のお問い合わせ先◇◆◇

【カップヌードル PR事務局 株式会社マテリアル内】

TEL: 03-5459-5490/FAX: 03-5459-5491 MAIL: sugihara@materialpr.jp

担当: 杉原 / 杉原携帯(080-4090-3971)まで

カップヌードルミルクシーフードヌードル “実物大 乳牛型お湯入れマシン”が抽選で 1名に当たるキャンペーンスタート 2014年11月19日(水)～2015年1月10日(土)

＜キャンペーン概要＞

今冬、ミルクシーフードヌードルの話題化施策として、“実物大 乳牛型お湯入れマシン”（高さ約120cm、全長約200cm、厚さ約70cm、重さ約30kgの、牛の形をしたお湯を入れられる装置）を制作し、抽選で1名にプレゼントするという企画を実施します。また、キャンペーンの告知のために動画を制作し、キャンペーンページ及び日清食品グループのYouTubeチャンネルで公開します。

■実施期間：2014年11月19日(水)～2015年1月10日(土)

■発送時期：応募締切日の約1ヶ月後を予定しておりますが、諸事情により遅れる場合があります。また、特殊な賞品となるため、当選者には、発送の前に、事務局より受け取り可否確認のご連絡をします。

■キャンペーンページ：<http://www.cupnoodle.jp/campaign/milk/>

＜実物大 乳牛型お湯入れマシン概要＞

高さ約120cm、全長約200cm、厚さ約70cm、重さ約30kgの、牛の形をしたお湯を入れられる装置です。

本体裏側の胴体部分よりお湯を入れ、

乳部分を搾ることでお湯が出せる仕様です。

マシン自体にお湯を沸かす機能は付いていないため、

熱湯は、別途やかんやポットで沸かして頂いたものを

カップに入れてマシンに移し替える必要があります。

火傷の恐れがあるため、対象年齢は中学生以上です。



＜実物大 乳牛型お湯入れマシンキャンペーン動画概要＞

とあるマンションで、親子が子供に絵本を読み聞かせている。

絵本の内容は以下の通り。

「ある牧場に生まれつき乳の出ない牛がいた。

かわいそうな牛を見かねた牧場の夫婦が、

街の研究者に相談をした結果、牛は乳からお湯が出る、

実物大 乳牛型お湯入れマシンに生まれ変わった。

実物大 乳牛型お湯入れマシンに生まれ変わった牛は、

キャンペーンの景品となり、とあるお兄さんの家に贈られ、

とても大切にされました。」絵本の読み聞かせが終わると、

父親はそっと席を外し、クローゼットの扉を開ける。

クローゼットの中には、実物大 乳牛型お湯入れマシンの姿が。実は、この父親こそが、絵本の中に出てくるお兄さんだったのだ、ということが分かるシーンでストーリーが終わる。



◇◆◇本件に関する報道関係者様のお問い合わせ先◇◆◇

【カップヌードル PR事務局 株式会社マテリアル内】

TEL: 03-5459-5490/FAX: 03-5459-5491 MAIL: sugihara@materialpr.jp

担当: 杉原 / 杉原携帯(080-4090-3971)まで

カップヌードルミルクシーフードヌードル キャンペーンストーリー動画



とあるアパートの一室。
両親が子供に、絵本
を読み聞かせようとして
している。



「研究家はたくさんの
アイデアを出してくれ
ました」



「そしてついに」



父親
「昔、昔、あるところ
に...」



「みんなの役に立つ、お
湯が出る牛に生まれ変わ
りました」



(絵本の内容へ)



「おじさんとおばさんも
大喜び」



「生まれつき乳の出
ない牛がいました」



「キャンペーンの景品
となってとあるお兄さ
んに贈られました」



「牧場のおじさんと
おばさんは、思い切
って街の研究家に
相談することにしま
した」



「お兄さんの部屋で、
お湯が出る牛として、
とても大切にされ、幸
せに暮らしました」

(絵本終了)

カップヌードルミルクシーフードヌードル キャンペーンストーリー動画



絵本の読み聞かせが
終わると、父親は
そっと席を外し、ク
ローゼットの扉を開
ける。



クローゼットの中
には、実物大 乳牛型お
湯入れマシンの姿
が。

